

議決議案ダイジェスト

条例関係

■山田町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

少子化に対処して子どもを産み育てる環境のさらなる充実を図るため、関係条例の整備を行いました。

■山田町国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令等の一部を改正する政令が平成21年1月1日に施行されることになったため、関係条例の整備を行いました。

■山田町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

道路法施行令の一部が平成20年4月1日に改正されたことに伴い、この基準を参考に関係条例の整備を行いました。

■一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

地方自治法等の改正が行われたことに伴い、「山田町認可地縁団体印鑑条例」および「山田町墓地等の経営の許可に関する条例」の整備を行いました。

予算関係

■一般会計補正予算（第4号）

7,572万円を追加。総額67億6,183万円。

■介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）

450万円を追加。総額13億7,873万円。

■水道事業会計補正予算（第1号）

768万円を追加。総額2億8,094万円。

人事案件・選挙

■山田町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

議会は、平成20年12月18日に任期満了となる町選挙管理委員会委員と補充員のそれぞれ4人を選挙し原案のとおり決定しました。

◆選挙管理委員会委員（再は再任、新は新任）

▷和合協一（船越・71・再）▷勝山君雄（豊間根・69・再）

▷木村幸喜（織笠・57・新）▷鈴木協子（山田・64・新）



和合協一さん



勝山君雄さん



木村幸喜さん



鈴木協子さん

◆補充員（数字は、補充の順序）

①齊藤 茂（船越・57・再）②木村清美（豊間根・51・再）

③貫洞寛喜（境田・54・新）④大川貞子（大沢・65・新）

■教育委員の任命につき同意を求めることについて

平成20年12月13日に任期満了となる教育委員に上澤富士夫さん（大沢・55・再）を任命することに同意しました。

■人権擁護委員候補者の推せんに関し意見を求めることについて

平成21年3月31日に任期満了となる人権擁護委員の吉田徳右工門さん（船越・71・再）を推薦しました。



上澤富士夫さん



吉田徳右工門さん

その他一般議案

■若手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて

県後期高齢者医療広域連合の議員の定数を20人から35人に改め、各市町村から1人選出できるよう関係条例の整備を行いました。

■若手県沿岸知的障害児施設組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて

関係市町村間の利用児童数の変動に伴い、分担金の分賦割合の変更を行いました。

議員発議

■介護保険制度の改善を求める意見書

誰もが必要な介護サービスを利用できる社会の実現とそれを支える介護職員がいきいきと働き続けられる環境を整備するよう求めるものです。



「山田町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例」の一部を改正する条例が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

今回の改正により、乳幼児と妊産婦の医療費給付については、受給資格に定められていた所得制限が廃止され、4月1日から町民の皆さんが等しく給付を受けられるようになります。

給付の対象となるのは、これまでどおり6歳以下の

乳幼児と妊娠5カ月から出産するまでの妊産婦が病院で受診した際の医療費です。本町でも急速に少子高齢化が進み、出生数で見ると平成14年度には181人であったものが19年度には128人まで減少し、深刻な事態を迎えています。

このことから、町では人口減少と少子高齢社会に対応し、子どもを生み育てる環境のさらなる充実を図るため、医療費給付制度を見直したものです。

一般会計に7572万円を追加するなど20年度の補正予算3件が提案され、審議の結果、すべて原案のとおり可決されました。

今回の一般会計の補正は、国および県支出金などの内示や事業精査による事業費の増減や福祉灯油購入費助成金の増などが骨子で、主

なものは次のとおりです。

▽社会福祉総務費（福祉灯油購入助成金など） 1815万円

▽障害者福祉費（障害者自立支援給付費など） 4503万円

▽道路維持費（町道維持補修費） 1298万円

一般会計に7572万円を追加

福祉灯油購入助成事業を実施